

■花や咲く咲く (p. 28 ~ 31)

◆読解◆

ステップ1

- ① 戦争
② 制限
③ 三秀美
④ 布地
- ① 幼なじみ
② デザイン
③ 則子
④ 三秀美
⑤ ブラウス
⑥ 和装
⑦ 母
⑧ 和美

※③、④は順不同可。

ステップ2

【場面1】

- 1 神様からの賜り物
- 2 ① 幸せ
② 感動
- 3 ウ
- 4 ① 妖艶
② 清々しさ
- 5 ① 親友をモデルにして、あれこれデザインを考えることで、空腹や戦況への危惧、将来への不安を忘れ去れたから。

【場面2】

◆エ

【場面3】

- ① 戦争 (戦時)
- ② 例喜ぶ顔

ステップ3

- 1 ① 例 楽しさ、明るさ、幸せ、心のゆとり、日常生活、平和、希望、未来 など

2

(選んだ人物の名前) 例 則子

例 華やかな洋服などもう着られないと思っていたけれど、こんなにすてきなブラウスができるかもしれないなんて。いろいろ考えてデザイン画にしてくれた三秀美、本当にありがとう。感動して、幸せで、思わず泣いてしまったわ。

登場人物の立場になって想像を広げよう



「花や咲く咲く」の舞台は昭和十八年の日本。戦争 (第二次世界大戦) が激しさを増している時代だよ。もし自分が三秀美たちの同級生だったら、と考えてみよう。紙質のよいノートも、本物の砂糖も贅沢品。食べ物不足していて、好きな服を着ることもできない。友達と大きな声で笑い合うだけで、憲兵が家に踏み込んでくるかもしれない。そんな窮屈な生活を強いられていたんだ。さらに、戦時中という時代背景からくる不安や緊張が、常にある中であつたことも忘れてはいけないね。そんな中、思いがけず手に入れた美しい布地でブラウスを作れることが、三秀美たち四人にとってどんなにうれしかったか、想像できたかな。